

S. A. 英語英文学科・3 年次

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

入学式の日国際交流センター（現；国際課）へ行ってパンフレットを見たときに、私の憧れるイギリス人の知り合いの母校である Royal Holloway（以下 RH）と同志社女子大学が協定を結んでいるというのを知ってから、留学が決まるまで毎日 RH への留学を願っていました。

② 留学を目指してから出願までの英語学習方法

実はあまり特別なことはしていません。IELTS が必要だったのでその勉強と、あとはひたすら学校の授業と課題を真面目にしていました。私は AES に入っていたので比較的ネイティブの英語の先生と英語で話す機会は多かったと思います。考査の時に GPA が重要になってくるのでまずは学校での勉強をしっかりこなすことが一番大事だと思います。

③ 留学決定から出発までの準備期間

留学決定後は積極的に英文記事を読んだり（芸能人のニュースだったり、簡単で自分の興味のあるもの）、リスニングが苦手だったので映画やテレビ番組などで英語を聞くようにしていました。私の場合は半年未満の観光ビザだったのでどこかに何かを取りに行ったり～というのはなかったのですが入学手続きや寮の手配に時間がかかりギリギリにやっと整ったという感じでした。向こうの大学は日本のように迅速に対応してくれるわけではないですし膨大な数の留学生を受け入れているのでそういった手続きなどは連絡を受け取ったらすぐに取り掛かるべきです。

④ 現地到着後

現地に到着は寮の開館日の前日に着くようにしていたので、空港に着いた後バスで空港近くのホテルまで行き翌日学校へ向かいました。入寮手続きをして入居。翌日に説明会と学内オリエンテーションがありました。最初の3か月は語学研修（PELP）を受けました。

⑤ 語学研修期間

◆ 語学研修先の施設・環境について

◆ 授業内容、課題、試験

授業内容はひたすらアカデミックなことを学びました。文法や単語、サマリーやエッセイの書き方、リスニングやスピーキングの練習、プレゼンはグループワークが2回、最後の1回は個人でした。12、8、4週間と別れていてそれぞれのタームの間には3日ほどの休みがあって期末にはリスニングテストがありました（計3回）。最後のリスニングテストが大事

でこれで点数を取れないと正規の授業に進めないみたいで実際に 5 人ほど母国へ帰った人がいました。

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

◆ 履修科目

◆ 授業、レポート、定期試験

履修科目は Contemporary Britain: Class, Power and Social Change in the Arts と Shakespear です。最初の 2 週間ほどは科目を変えられるのですがその際にオフィスを訪ねて先生方に理由を説明して～と簡単ではなかったです。ですが授業内容はとても大切なので授業を受けてシラバスをよく読んでクラスの雰囲気や難易度を考慮しよく吟味してから決定した方がいいと思います。Term 1 では筆記試験はなく毎週のレポートやリーディングリスト、グループワークなどがありました。1 つ目の教科は 3,000 字のエッセイとプレゼンが学期末にあり、それと今までの課題や授業態度、出席日数などをトータルでみての成績で、逆に 2 つ目の教科は最後の 3,000 字のレポートが 100% の評価基準でした。

⑦ クラブ、課外活動、ボランティア活動

特になし。

⑧ 現地での住まい（語学研修期間、正規科目履修期間）について

ずっと寮に住んでいて部屋は 1 人部屋。最初の 3 か月はシャワーの共有（6 人で 1 つ）、キッチンはずっと共有で後の 3 か月はケータリング（食堂で夕食を 50% off で安く食べられる）の寮だったのでオープンやコンロはなく、食堂に行くか母に送ってもらったカップ麺やレンジを使ったお米などを食べていました。寮は一応希望は出せますが希望通りになることはほぼないと思います。キャンパス内にすべてあるので教室まで徒歩 10 分、図書館までは 5 分ほどでした。

⑨ 長期休暇の過ごし方

PELP と正規授業の間が 10 日以上あったので PELP 期間にできた友人とイギリス中北部（リヴァプール、ヨーク）へ旅行に行きました。

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

特になし。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

やはりイギリスは観光地だらけなのでどこかへ遊びに出かけているときは本当に楽しかつ

たです。休日は近くのロンドンへみんなで遊びに行ったり、徒歩 30 分くらいのところにある大きな公園へピクニックをしに行ったりと本当に楽しかったです。あと個人的に私はイギリス文学が大好きで、中でも「ジェーン・エア」という作品が最も好きな作品だったので、イギリスの歴史ある National Theatre へ劇を見に行ったり、ブロンテ姉妹の所縁の地である Haworth へ旅行に行ったりと、イギリス留学中にしかできない経験ができて本当にうれしかったです。でも正直私はあまり遊びに行けてなかった方だと思うので、消極的にならずにもっといろいろな場所へ行くべきだったと後悔しております。これから行かれる方は、イギリスにあんなに長く滞在できることはもうないと思うので悔いなく満喫してください！

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

イギリスの食事はやはり合いませんでした…。ですので、私は「らいす・わいん」という日本食の通販サイトでお米などを頼んでいました。あと自炊はなるべくした方がいいです。ほかには言葉の壁も大きかったです。やはり言葉が通じないとその分我慢することは増えるのでストレスも溜まっていきます。よりよい生活をするため、授業で苦勞しないためには出発前に 1% でもいいから英語力を向上させておきましょう！

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

一番驚いた（受け入れられなかった）のは洗濯機で靴と一緒に洗っていたことです。欧米の文化ではそれが当たり前らしく、たまに洗濯機の中に泥が残っていたりということがありました。あと自分から声を出さないと伝わらない（聞いてきてくれない）ので自発的に行動することが大事です。傲慢になるのではなくて何か理不尽なことがあれば自分の意見を相手にしっかりと伝えるべきです。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

良かった点は立地の良さです。ロンドンから電車で約 1 時間なので 1 人でちょこっと遊びに行くような感覚で行けました。あと RH はイギリス国内でもトップレベルの留学生の多さを受け入れているので多様性はこの学校の一番の魅力だと思います。悪かった点はやはり生徒数の多さが尋常じゃないので職員の対応の遅さが気になりました。あと建物が結構古いので、寮には当たりはずれが有り、私は自分の寮にいるのが好きではなかったです。あまり綺麗じゃないので…。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンはもちろん必要です。あと意外なことに電子辞書が海外ではないらしく持ってい

るのは日本人学生だけでした。しかし本当に役に立つので絶対に持参しましょう。あと生理用品や化粧品などはやはり日本で買ったものを持っていく方がいいです。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

まだ帰ってきてから TOEIC などのテストを受けていないので実際に数字としてはわかりませんが、テレビ番組の英語が聞き取りやすくなっていたり、学校に戻った際に英語の先生方と以前よりもはるかにすらすらと会話をできていたのを感じました。発音もすごく綺麗になったと褒められました。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

私が留学をつかみ取った一番の秘訣は芯の強さだったと思います。他の人とは違って「憧れの人に近づきたい」という一見笑われるような理由でしたが他の誰よりも意思を強く持っていた自信はありますし、単に「留学に行きたい」と漠然と考えているだけではその目標を維持するのは難しいと思います。現に途中であきらめている人はたくさんいました。私はどこでもいいから留学に行きたいと思ったことはなく「RH に行けないならどこにも行きたくない」くらいの強い気持ちを持っていました。理由はどんなことでもいいと思うので自分がこれだと思えるものを何か 1 つ見つけてそれに向かって真っすぐに頑張ってください。

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

私は今就活中で、留学に行ったという経験を活かして、主に英語塾や教育現場などの企業に焦点を当てています。やはり英語を話せるというのは大きなストロングポイントになりますし私自身留学中にもっと話せれば…と後悔したことが何回もありましたのでこれから世界へ出ていく方たちがそんな経験をしないように、海外の人と対等に渡り合えるようにサポートができればと考えております。日本にはたくさんの素晴らしい文化、技術がありますので、世界で戦える人材を国内で育成していくことが今の目標であり、私自身の使命であると感じております。将来の夢といたしましては、私は昔からドイツに住むのが夢だったのでその夢がかなえられればと思います。もし出来なくても、日本で映画関係の仕事に就いたり、サグラダファミリアを見にいたりクラシコ（R・マドリーとバルセロナの試合）を生観戦しにいたり…と国内外問わずしたいことがたくさんあります！もともといろんなことに興味を持ちやすい性格だったので夢というのはたくさんあり、そんな夢をかなえるためにこの留学経験を活かして今できることを精一杯しようと思います。

V. 写真



PELP3 のメンバーと：

最終日にみんなで撮りました。このクラスはとにかく多様性に富んでいて、日本、中国、ブルガリア、トルコ、キプロス、カザフスタン、と本当にいろいろな地域から来ていて、その分調和するのはもちろん難しかったです。違った文化などを知ることができて楽しかったです。



友人たちとピクニック：

友人たちと休日に近くの大きな公園へピクニックに行きました。本当に大きな公園で自然の中でゆったり落ち着いた空間を過ごすことができリフレッシュには最高でした。イギリスはこういった自然が豊かな場所なので勉強などで疲れた際には自然に癒されるのもいいかもしれないですね。



本物のアフタヌーンティーを体験：

友人と旅行先の York にて、アフタヌーンティーで有名なお店があったので体験してきました。やはりイギリスに来たからには！と思っていたのでとても嬉しかったです。質のいいお店だったのでサービスもよく、イギリス留学される方には是非お勧めです。